

- 問1 18世紀中頃には蒸気で走る自動車が発明されるなど、新たな動力を活用する試みが始まっていました。その後、ワットが蒸気機関を改良したことが社会に与えた影響について、その背景と経緯を説明した文として最も適切なものはどれか。 (2019年 長野県公立入試 類似)
1. 蒸気機関の改良により、天候や場所に左右されない生産が可能となり、綿織物などの大量生産による生産力の増大をもたらした。
 2. ワットによる蒸気機関の改良は、あくまで自動車などの輸送手段の発展に留まり、工業生産の仕組みそのものを変えるには至らなかった。
 3. 蒸気機関は主に軍事目的に限定して利用されたため、一般市民が消費する綿織物などの生産には電力が普及するまで大きな変化はなかった。
 4. 蒸気機関が普及したことで、ルネサンス以来の伝統的な職人による手作業が再評価され、工場制手工業が主流となった。
- 問2 江戸幕府が全国の諸大名を統制するために制定し、城の無断修理や幕府の許可を得ない婚姻などを厳しく制限した法令の名称を答えなさい。 (2021年 奈良県公立入試 類似)
1. 五箇条の御誓文
 2. 十七条の憲法
 3. 御成敗式目
 4. 武家諸法度
- 問3 元禄文化が栄えた時期の、社会・経済の状況や人物の活動を説明した文として正しいものはどれか。 (2020年 千葉県公立入試 類似)
1. 杉田玄白らがオランダ語の解剖書を翻訳して『解体新書』を出版し、医学や科学の発展に貢献した。
 2. 葛飾北斎が「富嶽三十六景」を描き、風景画という新しいジャンルを確立して民衆の間に広めた。
 3. 井伊直弼が日米修好通商条約を結び、横浜などの港を開放したことで、海外の文化が急速に流入した。
 4. 松尾芭蕉が各地を旅して『おくのほそ道』などの俳諧を大成させ、内面的な深みのある作品を残した。
- 問4 江戸幕府は1613年のキリスト教禁止令から1641年の「鎖国」体制の完成に至る過程で、多くのヨーロッパ諸国との交流を断ちましたが、特定の国に対しては長崎の出島での通商を継続して許可しました。この国は幕府に対し、貿易の対価として海外情勢を報告する義務を負っていました。その国名を次の中から選びなさい。 (2026年 三重県公立入試 類似)
1. スペイン
 2. イギリス
 3. ポルトガル
 4. オランダ
- 問5 徳川吉宗による享保の改革期において、幕府の年貢収納高が右肩上がりに増加している一方で、都市部での米価は大幅に下落する傾向にありました。このような状況が幕府や武士に与えた影響と、それに対してとられた政策の背景を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2025年 山口県公立入試 類似)
1. 米の不作によって価格が高騰し、都市部で打ちこわしが頻発したため、幕府は米の流通を制限して価格を無理やり引き下げようとした。
 2. 米の供給過剰によって米価が下がり、米を売って生活費を得ていた武士が困窮したため、幕府は米価を上げる目的で市場の整備や調整を行った。
 3. 定免法の導入により年貢収入が安定しなくなったため、幕府は米の代わりに商品作物の栽培を奨励して農民の収入を増やそうとした。
 4. 貨幣の質を落としたことで物価全体が上昇したため、米の価値が相対的に低くなり、幕府は質の高い貨幣に戻すことで物価の安定を図った。
- 問6 松平定信が進めた寛政の改革において、幕府の権威を回復し体制を整えるために実施された「出版統制」や思想に関する政策として、正しいものはどれですか。 (2018年 熊本県公立入試 類似)
1. 株仲間の結成を広く奨励し、出版流通を幕府の管理下に置いて保護した。
 2. 目安箱を設置して庶民の意見を直接聞き、出版の内容に民衆の要望を反映させた。
 3. 聖堂学問所において朱子学以外の講義を禁じ、幕府を批判するような出版物を厳しく取り締まった。
 4. 人返しの方を発令し、江戸の浮世絵師や作家を強制的に農村へ帰して農業に従事させた。
- 問7 欧米の市民革命を整理した資料において、アメリカ独立宣言が当時の社会に与えた歴史的背景や意義を説明した文として、正しいものを選択してください。 (2016年 鹿児島県公立入試 類似)
1. イギリス本国の重商主義政策による不当な課税に対する反発から、植民地側が自己決定権を正当化したものである。
 2. 名誉革命後の混乱を収拾するため、国王が議会に対して妥協し、国民の権利を成文化した文書である。
 3. 産業革命による資本家と労働者の対立を解消するため、社会権の概念を世界で初めて盛り込んだものである。
 4. フランス革命の激化に伴い、恐怖政治を終わらせるために平民階級が中心となって作成したものである。
- 問8 江戸時代の海上交通において、山形県の酒田港などの寄港地に大きな繁栄をもたらした「北前船」の役割や特徴について、正しい説明はどれですか。 (2019年 山形県公立入試 類似)
1. 参勤交代を行う大名とその家臣団を安全に運ぶために、幕府が日本海側の主要な港に配置した公用船であった。
 2. 日本海沿岸の特産物を各地で買い取りながら転売し、大坂へと運ぶ「買積み」という形態で大きな利益を上げた。
 3. 幕府の公認を得て、東南アジア諸国と日本との間で生糸や銀などの貿易を行うことを主な目的としていた。
 4. 大坂の商人たちが連合して組織し、江戸の住民が必要とする醤油や木綿、油などの日用品を専門に輸送した。
- 問9 江戸幕府は、大阪や長崎といった特定の重要都市を直轄地（天領）として直接統治しました。その説明として、当時の状況に合致するものはどれですか。 (2022年 佐賀県公立入試 類似)
1. 「天下の台所」と呼ばれた物流の拠点や、海外貿易の窓口となる場所を掌握することで、全国を支配する体制を整えた。
 2. 主要な鉱山から産出される金や銀をすべて大名に分配し、都市の統治は大老が一代で世襲する決まりを設けた。
 3. 長崎や大阪を大名の領地とすることで、各大名が自由に外国と貿易を行うことを奨励し、幕府の財政負担を減らした。
 4. 都市の住民にのみ参勤交代の負担を負わせることで、大名たちが領地の経営に専念できる仕組みを作った。
- 問10 18世紀後半の日本における自然災害の記録において、1771年に「明和の大津波」が発生し、壊滅的な被害を受けたとされる地域の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2021年 沖縄県公立入試 類似)
1. 小笠原諸島と伊豆諸島
 2. 奄美群島とトカラ列島
 3. 八重山諸島と宮古諸島
 4. 隠岐諸島と対馬
- 問11 江戸時代、諸藩がわざわざ遠方の大坂に蔵屋敷を設置し、米や特産物を送った理由として、最も適切な説明はどれか。 (2017年 大阪府公立入試 類似)
1. 鎖国体制下において、蔵屋敷を通じて清やオランダとの密貿易を行う必要があったため
 2. 大坂の農民が食糧不足に陥っていたため、救済措置として余った年貢米を供給するため
 3. 貨幣経済が浸透する中で、参勤交代の費用や生活費に充てるための現金を効率よく得るため
 4. 幕府が各藩に対して、全ての年貢米を大坂の市場で売却することを義務づけたため
- 問12 江戸におけるしょうゆの流通の変化について、1726年と1821年の統計を比較した状況を説明した文として、正しいものはどれですか。 (2022年 宮城県公立入試 類似)
1. 18世紀から19世紀を通じて、しょうゆの生産地は一貫して東北地方に集中しており、太平洋の海上輸送が中心であった。
 2. 18世紀には関東地方産のしょうゆが主流であったが、輸送技術の向上により19世紀には関西地方産が市場を独占した。
 3. 幕府が関西地方産の流入を制限したため、19世紀には江戸へのしょうゆの総入荷量が18世紀の半分以上に減少した。
 4. 18世紀初めには関西地方産の入荷が圧倒的に多かったが、19世紀には関東地方産の生産が拡大し、入荷の主流となった。